

製品名: PRK2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81025**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	140kDa

抗原情報

遺伝子名	PRK2
別名	PKN2; PAK2; PRK2; Pak-2; PRKCL2; PRO2042; MGC71074; MGC150606
遺伝子 ID	5586.0
SwissProt ID	Q16513
免疫原	大腸菌で発現したヒト PRK2 の精製された組み換え断片。

背景

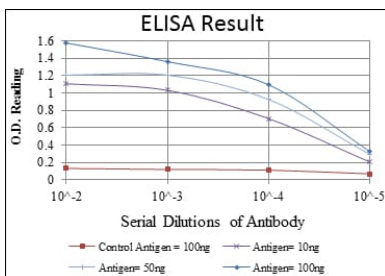
プロテインキナーゼ C 関連キナーゼ (PRK) は、肝臓の PAK および PKN を含む脂質制御性プロテインキナーゼ (PKC) の一部です。ヒト PRK1 と PRK2 は構造的に類似した触媒ドメインを共有していますが、N 末端調節領域の類似性は低く、異なる調節ドメイン機能

を持つことが示唆されています。PRK1 と PRK2、そしてこのファミリーの 3 番目のメンバーである PRK3 は、成体組織において異なる発現パターンを示します。さらに、セリン-スレオニンキナーゼ PRK2 は、アポトーシスにおいてカスパーゼ 3 (および / またはカスパーゼ 3 類似サブファミリーメンバー) によって特異的に切断されます。

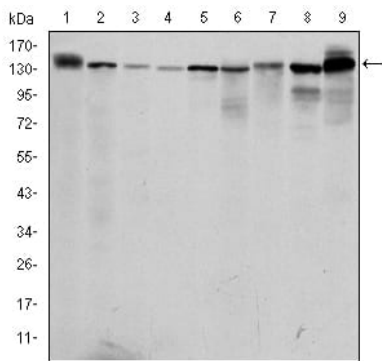
研究分野

アポトーシス、PI3K-Akt シグナル伝達経路

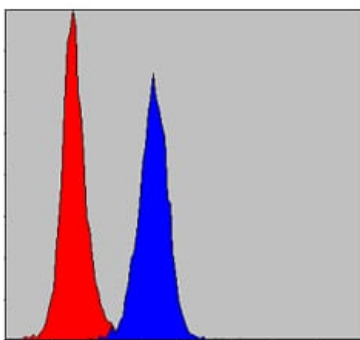
画像データ



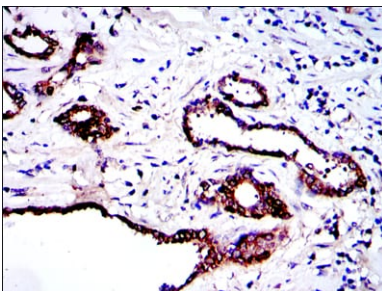
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



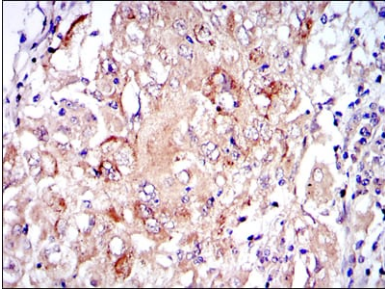
PC-12 (1)、Cos7 (2)、K562 (3)、Jurkat (4)、HeLa (5)、A431 (6)、C6 (7)、NIH/3T3 (8)、HEK293 (9)細胞溶解物に対する PRK2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



PRK2 マウス mAb (青) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



PRK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学分析。



PRK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。